



市立学校全校に給水機を設置

水分補給できる環境を整備し、熱中症対策を強化

豊中市は、児童・生徒の熱中症対策を強化するため、市立学校全校に給水機を設置し、令和 8 年（2026 年）7 月から順次運用を開始します。本取り組みでは、校内の共用スペースなどに給水機を設置し、児童・生徒が日常的に水分補給できる環境を整備します。

これにより、水分補給の習慣化を促進するとともに、猛暑時における熱中症リスクの低減を図ります。

市立学校給水機設置事業の概要

1. 事業の背景・目的

近年の猛暑により、学校現場における熱中症対策の強化が求められている。児童・生徒がこまめに水分補給できる環境整備を重要課題と位置付け、全校へ給水機を設置するもの。

2. 実施内容

対 象 校：市立小学校 35 校、中学校 15 校、義務教育学校 2 校（計 52 校）

設置台数：合計 208 台

設置場所：校内共用スペースなど

運用開始：令和 8 年 7 月から順次

3. 期待される効果

水分補給の習慣化による熱中症予防

児童・生徒の健康意識の向上



【報道機関からの問い合わせ先】

教育委員会事務局 教育総務課

担 当：田上 TEL: 06-6858-2538

E-mail: kyokikakukeiri@city.toyonaka.osaka.jp